

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

（地域の現状）  
 ケアプラザは6連合地区（保土ヶ谷地区・保土ヶ谷南部地区・保土ヶ谷中部地区・岩井町原地区・保土ヶ谷東部地区・岩間地区）の広域エリアを担当しています。各地区で課題等はありませんが特に高齢化率の上昇、高齢者単身世帯の増加により今まで以上に地域支援が必要とされている現状であります。  
 （今後の方向性）  
 地域福祉保健計画の地区別計画の策定・推進や地域との顔の見える関係づくりの推進、関係機関との連携強化を図っていく必要があります。地域福祉の推進において重要な役割を果たしている地域住民を主体とした話し合いの場やグループ活動等が、地域の中に広がるよう支援し、子育て・障害者・高齢者を地域で支えるコミュニティ及びネットワークの構築を推進します。また横浜型地域包括ケアシステム構築のため、各団体等が地域の資源と課題を共有し、有機的な連携が図れるように支援する必要があります。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	年1回以上の職員意向調査を兼ねた職員面接を実施する。 年2回以上実施する全体職員会議の中で倫理規定やコンプライアンスの遵守に関する研修を行い、組織全体で安全な業務遂行に取組む。 毎朝のミーティングで個人情報の取り扱い、基本ルールの厳守、健康管理の留意（衛生管理）等の注意喚起を継続実施する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	より一層地域特性や地域課題を理解できるよう、地域住民と話し合いができるようにする。 引き続き、既存のネットワークを活用し、今まで関わりが少なかった様々な関係機関や地域住民が主体的に地域活動に関われるようコーディネートを進めていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	引き続き、地区支援チーム内で明確な役割分担を図り、地域の情報把握を行うとともに地区別計画の推進を既存のネットワークを活用し、より多くの人が参画できるよう、話し合いの場の中で働きかけを行っていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	幅広い住民への情報発信ができる媒体の活用および支援者や地域住民が情報を共有し、お互いが協力して情報を発信できる情報シートの作成を進めていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	より多くの個別課題から分析検討を行い、地域課題を明確化したうえで、支援チームで共通の認識を図り、地域を交えて課題解決に向けて検討を進めていく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

①職員体制・育成は、労働環境整備を整えるとともに、コンプライアンス遵守の徹底と職員の意識向上を図ることができた。  
 ②担い手の発掘は、地域福祉保健計画の策定・推進の場を活かし、様々な地域の方と話し合いをする場を設け、新しい方との関わりが生まれた。地域課題において地域の団体や企業等が同じ意識を持てるような働きかけを進めている。  
 ③地域福祉保健計画の推進は、包括カンファレンス及び地区支援チーム会議の実施により地域情報の共有を図ることができた。地域福祉保健計画の推進の場において、コロナ禍の状況であるが、多くの人の意見を聞く方法や参画できるよう地域と一緒に考え、年度の振り返り等を活かし、次年度の取組に繋げるよう働きかけた。  
 ④法人HPの開設により今まで以上に情報発信することに努めた。エリア別子育て支援連絡会では昨年より引き続き地域やケアプラザ等の関係機関、支援者が互いの情報を共有し、発信できる仕組みづくりへ向けた検討を進めている。  
 ⑤地区社協定例会等の地域における話し合いの場において、専門職から見た地区状況や相談内容の分析等を伝え、地域での見守り体制の構築へ向けた働きかけを行った結果、見守りをテーマとした話し合いの場を住民が設定し、継続的に話し合うことができるようになった。

区からのコメント

令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により計画していた事業や取組を行うことが難しい一年だったかと思えます。様々な制限がある中で工夫しながら取り組まれ、また、多くの相談への支援を行っていただき、ありがとうございました。特に、第4期地域福祉保健計画の区計画、地区別計画に基づき、地域ケアプラザとして計画の趣旨に沿った事業展開、地域支援を行っていただきました。また、所内での各職種間連携も緊密に行われており情報に偏りなく地域課題解決のための工夫がなされています。

# 令和3年度横浜市岩崎地域ケアプラザ事業報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者、住民、地域団体、事業者等に対して公正中立な立場で対応します。</li> <li>職員が公正・中立でなければならないことを理解している。</li> <li>個別支援にあたり、サービスが特定事業者に偏らないように配慮します。</li> <li>利用者本人、家族の意思を尊重していきます。</li> <li>利用者に事業所一覧を提示する等、複数の選択肢があることを説明します。</li> <li>年1回以上の利用者アンケートの実施を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令遵守を徹底し、サービスの質の向上に努めていきます。</li> <li>毎朝、基本ルール・個人情報の取り扱いの注意喚起を実施します。</li> <li>チェックリスト(別紙)を用いて定期的に自己点検を実施します。</li> <li>個人情報の重要性を認識し適切な取得、利用、提供、管理します。</li> <li>予め予測できる危険については積極的に対処していきます。</li> <li>事件・事故等が発生した場合、迅速な報告、適切な対応に努めます。</li> <li>日常的に衛生管理・感染症対策を図っていきます。</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者、住民、地域団体、事業者等に対して公正中立な立場で対応しました。</li> <li>職員の対応状況把握や指導に努めました。</li> <li>利用者本人、家族の意向・意思を尊重した対応をしました。</li> <li>事業所の選択に係る相談対応を適切に実施しました。</li> <li>利用者アンケートの実施と振り返りを行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令遵守を徹底し、サービスの質の向上に努めました。</li> <li>毎朝、基本ルール・個人情報の取り扱いの注意喚起を実施しました。</li> <li>チェックリストによる定期的な自己点検を実施しました。</li> <li>会議等でコンプライアンスの確認・点検を実施しました。</li> <li>ヒヤリハット・事故防止の委員会を毎月実施しました。</li> <li>出勤前の健康チェックにより感染症対策に努めました。</li> </ul>

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が目標を理解した上で、その達成のために必要なサービスを主体的に利用して、目標の達成に取り組んでいけるような計画を作成し、実行していきます。	利用者の心身の状況、生活環境に応じてご本人が自立した生活が送れるよう、各関係機関と連携を図りながら、適切な計画を作成する。また月4回の会議を実施したり、他事業所と事例検討会を行い処遇困難ケースについての方針を話し合ったり、各ケースの問題点を検討し、質の高いサービスを提供していきます。
利用料金・実費負担	介護保険法の規定により定められた介護予防支援に係る費用の額 介護予防支援費 4,216円 初回加算の場合 7,151円	介護保険法の規定により定められた居宅介護支援に係る費用の額(介護支援専門員1人当たり利用者数が40人未満の場合) 要介護1・2 11,965円 要介護3～5 15,545円 通常の実施地域以外への交通費の実費(公共交通機関等の交通費)
職員体制	主任介護支援専門員(管理者兼務:1名):1名<加配分1名増員予定> 保健師職:2名 社会福祉士:2名 予防プランナー:1名 事務員:1名	主任介護支援専門員(管理者):1名(兼務) 主任介護支援専門員:1名(専従) 介護支援専門員:1名(専従)<1名増員予定>
契約者数	要支援1 122名 要支援2 251名	要介護1 8名 要介護2 27名 要介護3 10名 要介護4 4名 要介護5 7名

## 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	介護支援専門員や他事業所と密着した連携をとり、ご利用者が自立・安定した生活が送れるよう、状態を把握し、身体状況の維持・向上を図ります。個別機能訓練(通所介護対象)では、ご希望者対象にご本人様・ご家族様の要望に沿った目標・プログラムを作成し個別メニューで実施します。		
実施体制	【実施日数】 週7日 【提供時間】 9:00～16:30 【定員】 35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通所介護 1割負担分 要介護1 703円 要介護2 829円 要介護3 961円 要介護4 1092円 要介護5 1225円</li> <li>サービス提供体制加算 20円(4・5月) 24円(6月～)</li> <li>中重度者ケア体制強化加算 49円</li> <li>●介護予防・第1号 1割負担分 事業対象者 1793円 要支援1 1793円 要支援2 3675円</li> <li>サービス提供体制加算 要支援1 78円(4・5月) 95円(6月～) 要支援2 155円(4・5月)189円(6月～)</li> <li>食費負担 800円</li> <li>介護職員処遇改善加算 総単位数×4.3%</li> <li>介護職員特定処遇改善加算 総単位数×1.2%</li> <li>おむつを提供する場合(1枚の実費) 紙おむつ 80円 紙パンツ 100円 紙パッド 20円</li> </ul>		
職員体制	管理者 1名 生活相談員(介護職員兼務) 4名 看護師 4名 介護職員 11名 運転手 0名 栄養士 1名 調理員 4名		
契約者数等	【延べ利用者数】9120名 【契約者数】121名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「横浜市岩崎地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部 (単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,685,000	1,449,190	18,134,190	18,134,190	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	7,028	△ 7,028	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	5,700	△ 5,700	
その他	0	0	0	1,328	△ 1,328	
その他	0	0	0	0	0	
収入合計	16,685,000	1,449,190	18,134,190	18,141,218	△ 7,028	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,931,500	0	11,931,500	10,483,831	1,447,669	
本俸	8,100,000	0	8,100,000	7,063,923	1,036,077	
社会保険料	825,000	0	825,000	820,820	4,180	
手当計	2,803,500	0	2,803,500	2,375,615	427,885	
健康診断費	56,000	0	56,000	72,140	△ 16,140	
勤労者福祉共済掛金	31,000	0	31,000	29,700	1,300	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	110,000	0	110,000	116,070	△ 6,070	
その他	6,000	0	6,000	5,563	437	
事務費	1,637,000	0	1,637,000	856,235	780,765	
旅費	10,000	0	10,000	6,322	3,678	
消耗品費	190,000	0	190,000	127,326	62,674	
会議ठीい費	20,000	0	20,000	0	20,000	
印刷製本費	158,000	0	158,000	103,600	54,400	
通信費	330,000	0	330,000	273,291	56,709	
使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	21,120	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120	0	21,120	21,120	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	0	0	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	75,000	0	75,000	0	75,000	
職員等研修費	20,000	0	20,000	3,110	16,890	
振込手数料	45,000	0	45,000	37,733	7,267	
リース料	185,000	0	185,000	23,959	161,041	
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	582,880	0	582,880	259,774	323,106	
事業費	400,000	0	400,000	20,929	379,071	
運営協議会経費	0	0	0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	400,000	0	400,000	20,929	379,071	
その他	0	0	0	0	0	
管理費	5,830,000	0	5,830,000	5,062,366	767,634	
光熱水費	2,910,000	0	2,910,000	3,414,888	△ 504,888	
清掃費	747,000	0	747,000	746,604	396	
機械警備費	116,000	0	116,000	115,043	957	
設備保全費	752,000	0	752,000	785,831	△ 33,831	
空調衛生設備保守	277,000	0	277,000	308,628	△ 31,628	
消防設備保守	44,000	0	44,000	45,745	△ 1,745	
電気設備保守	78,000	0	78,000	77,669	331	
害虫駆除清掃保守	22,000	0	22,000	23,359	△ 1,359	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	331,000	0	331,000	330,430	570	
共益費	0	0	0	0	0	
その他	1,305,000	0	1,305,000	0	1,305,000	
修繕費	474,000	1,449,190	1,923,190	1,905,037	18,153	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	20,272,500	1,449,190	21,721,690	18,328,398	3,393,292	
差引	△ 3,587,500	0	△ 3,587,500	△ 187,180	△ 3,400,320	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	400,000	0	400,000	20,929	379,071	
自主事業 収支	△ 400,000	0	△ 400,000	△ 20,929	△ 379,071	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	5,700	△ 5,700	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	21,120	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 21,120	0	△ 21,120	△ 15,420	△ 5,700	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「横浜市岩崎地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部 (単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	40,477,000	0	40,477,000	40,477,000	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000	0	5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	21,566	△ 21,566	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	21,444	△ 21,444	
その他	0	0	0	122	△ 122	
その他	0	0	0	0	0	
収入合計	46,433,000	0	46,433,000	46,454,566	△ 21,566	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	41,529,000	0	41,529,000	30,455,675	11,073,325	
本俸	22,801,000	0	22,801,000	16,352,359	6,448,641	
社会保険料	6,220,000	0	6,220,000	3,883,277	2,336,723	
手当計	11,645,000	0	11,645,000	9,505,545	2,139,455	
健康診断費	90,000	0	90,000	71,907	18,093	
勤労者福祉共済掛金	52,000	0	52,000	37,600	14,400	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	705,000	0	705,000	588,300	116,700	
その他	16,000	0	16,000	16,687	△ 687	
事務費	1,715,000	0	1,715,000	1,994,011	△ 279,011	
旅費	35,000	0	35,000	32,618	2,382	
消耗品費	105,000	0	105,000	120,423	△ 15,423	
会議賄い費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	45,000	0	45,000	47,647	△ 2,647	
通信費	350,000	0	350,000	313,307	36,693	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	0	0	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	110,000	0	110,000	0	110,000	
職員等研修費	45,000	0	45,000	96,890	△ 51,890	
振込手数料	75,000	0	75,000	57,861	17,139	
リース料	61,000	0	61,000	6,362	54,638	
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	889,000	0	889,000	1,318,903	△ 429,903	
事業費	1,264,000	0	1,264,000	284,460	979,540	
協力医	630,000	0	630,000	42,000	588,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	240,000	0	240,000	32,059	207,941	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000	0	154,000	150,790	3,210	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	240,000	0	240,000	59,611	180,389	
その他	0	0	0	0	0	
管理費	1,799,000	0	1,799,000	1,345,685	453,315	
光熱水費	773,000	0	773,000	907,754	△ 134,754	
清掃費	199,000	0	199,000	198,464	536	
機械警備費	31,000	0	31,000	30,580	420	
設備保全費	201,000	0	201,000	208,887	△ 7,887	
空調衛生設備保守	74,000	0	74,000	82,040	△ 8,040	
消防設備保守	12,000	0	12,000	12,159	△ 159	
電気設備保守	21,000	0	21,000	20,645	355	
害虫駆除清掃保守	6,000	0	6,000	6,209	△ 209	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	88,000	0	88,000	87,834	166	
共益費	0	0	0	0	0	
その他	595,000	0	595,000	0	595,000	
修繕費	126,000	0	126,000	38,553	87,447	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	46,433,000	0	46,433,000	34,118,384	12,314,616	
差引	0	0	0	12,336,182	△ 12,336,182	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	634,000	0	634,000	242,460	391,540	
自主事業 収支	△ 634,000	0	△ 634,000	△ 242,460	△ 391,540	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	21,444	△ 21,444	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	21,444	△ 21,444	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市岩崎地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護					
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	20,507	3,679	16,828	16,317	10,455	5,862	82,788	85,367	-2,579			0
	その他	0	0	0	445	118	327	6,979	7,494	-515	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	6,979	7,295	-316			0
	認定調査委託料	0	0	0	445	118	327	0	0	0			0
	サービス確保支援事業補助金	0	0	0	0	0	0	0	10	-10			0
	受入研修費	0	0	0	0	0	0	0	134	-134			0
				0			0			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	55	-55			0
	<b>収入合計(A)</b>	20,507	3,679	16,828	16,762	10,573	6,189	89,767	92,861	-3,094	0	0	0
支出	人件費	4,950	2,693	2,257	16,230	11,821	4,409	65,330	64,831	499			0
	事務費	100	281	-181	865	2,627	-1,762	1,843	4,344	-2,501			0
	事業費	0	0	0	200	1	199	8,145	7,473	672			0
	管理費	1,014	362	652	1,110	1,187	-77	8,538	8,630	-92			0
	その他	13,700	0	13,700	0	0	0	5,295	5,290	5	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	5	0	5			0
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	介護予防プラン委託料	13,700	0	13,700	0	0	0	0	0	0			0
	積立金支出	0	0	0	0	0	0	790	790	0			0
	拠点区分繰入金	0	0	0	0	0	0	4,500	4,500	0			0
			0			0			0			0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	
	<b>支出合計(B)</b>	19,764	3,336	16,428	18,405	15,636	2,769	89,151	90,568	-1,417	0	0	0
	<b>収支 (A) - (B)</b>	743	343	400	-1,643	-5,063	3,420	616	2,293	-1,677	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。



令和3年度 自主事業報告書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	区内7包括主マネ合同ケアマネ連絡会	平成18年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	委託を受けていただいている事業所を始め地域のケアマネジャー対象に研修会を開催し、個々のケアマネジャーのスキルアップを図る。	6:事業者		4月:法テラスによる後見制度について、5月:アルコール依存症、6月:失語症の方の支援、高次機能障害の方の支援、9月:働く者の健康、11月:認知症研修、12月:薬の話、1月:介護予防ケアマネジメント伝達研修、2月:精神疾患	8	381
2	区内7包括主マネ合同主任ケアマネ連絡会	平成29年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	区内主任ケアマネジャー対象に生活支援コーディネーターと地域包括ケアシステムについての研修会、グループワークを開催し、主任ケアマネジャーとしてのスキルアップを図る。	6:事業者		12月地域包括ケアシステムの構築に向け主任ケアマネジャーとして具体的にどのような活動をしていくのか研修及びグループワークを行った	1	15
3	多職種連携会議全体会	平成26年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の医療関係者(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、相談員等)、地域の介護事業所(居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、訪問看護事業所、通所介護事業所等)多職種の方々と連携強化を図る。	6:事業者		11月ZOOM研修にて「人生会議(ACP)ってなに?」と題し研修を行った。	1	0
4	岩崎地域ケアプラザ民生ケアマネ連絡会	平成18年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	担当エリアの民生委員、委託先のケアマネジャーと、日頃お互いが困っていること等について意見交換、連携強化とともに地域包括システムの推進を図る。今年度はコロナ禍の為、エリア全体の民生委員、委託先のケアマネジャー全員を集めての連絡会は行えない為、1地区に絞り、お互いの仕事の内容(流れ)等を理解し連携を深める。	6:事業者		今年度は、まず保土ヶ谷南部地区を対象に地区の民生委員、エリアのケアマネジャーに参加いただき、民生委員の取り組み、ケアマネジャー、事業所の業務の流れ、をお互いに理解し、どのような連携が出来るのか検討していく予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為未実施。	0	0
5	保土ヶ谷南部地区対象介護予防講座	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・介護予防についての知識を深め、また社会参加の機会ができることでいっそうの健康増進や認知症予防につながることを学ぶ。 ・手軽にできるようなプログラムを組み、セルフケアにつなげるようとする。 ・新型コロナウイルスの流行禍においても運動・活動することを続けられるよう支援。身体機能の維持を図る。 ・屋外で行うことで、幅広い世代や地域の人へアプローチする。	1:高齢者		感染予防対策を取ったうえで、介護予防のためのロコモ予防、口腔・嚥下機能向上、栄養状態改善、認知症予防をねらいとした教室を開催する。	0	0
6	健康教育・出前講座	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍において活動している、地域活動グループの実態を把握する。地域活動グループの活動支援。活動のモチベーション維持・向上を図る。	1:高齢者		公園等屋外でのラジオ体操や体力測定などのロコモ予防、栄養改善、口腔ケアのための助言や個別相談に応じた。	2	85
7	地域自主活動グループ活動支援	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	認知症理解の普及・啓発及び見守りネットワークの構築。	1:高齢者		コロナ禍でも活動を続けるグループの活動内容を把握した。また活動を続けてもらえるように、現在の活動にプラスになるように講師を呼んで運動指導を行った。	4	33
8	キャラバンメイト連絡会	平成18年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	認知症理解の普及・啓発	5:地域		認知症サポーター養成講座の開催に向けての調整や実施。 年10回程度。	6	26
9	認知症サポーター養成講座	平成18年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	介護予防、介護保険制度、権利擁護の普及・啓発、ケアプラザの機能についての周知等	5:地域		認知症サポーター養成講座の実施。 年4回程度	1	17
10	出張講座	平成18年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	裁縫を通じた誰でも気軽に集まれる場のきっかけ作りおよび社会貢献(社会参加)	5:地域		・地域住民対象 ・会場 各自治会町内会館等 *自治会、町内会、老人クラブ、各種団体等を対象に地域のニーズに応じた講座を実施	1	65
11	ちくちくサロン	平成28年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ヒップホップダンスを通じたダウン症の子と保護者の集いの場を提供	1:高齢者		・地域住民対象 ・会場 岩崎地域ケアプラザ ボランティアルーム ・年10回。毎月第3水曜日12~15時 オープンサロン形式にて実施 *年2~3回程度 地域の福祉施設への寄贈及び施設見学を実施	0	0
12	ダウン症の会	平成24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子の居場所作り 参加者同士(親と子)の交流の場を提供	2:障害児・者		・ダウン症の子と保護者対象 ・会場 岩崎地域ケアプラザ 多目的ホール ・年12回程度。毎月第1土曜日10~12時	0	0
13	こどもランド	平成16年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	リトミックを通じた発育促進 親子で集える場の提供と世代間交流	3:養育者及び乳幼児		・未就園児の子と保護者対象 ・年22回程度。毎月第2月・第3土曜日10~14時 *内容によって区地域子育て支援拠点こっころ等と共催にて実施	0	0
14	リズムあそび	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	リラックスヨガを通じたコミュニティづくり 自主的活動に向けての普及・啓発 ケアプラザの周知	3:養育者及び乳幼児		・未就園児の子と保護者対象 ・会場 岩崎地域ケアプラザ 多目的ホール ・年9回程度。原則毎月第1水曜日10~11時半	0	0
15	大人のヨガ教室	平成27年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	岩井町原地区における住民の健康意識の向上を図る 今後も住民主体で継続的に活動していくためのキッカケ作り	5:地域		・地域住民対象 ・会場 帷子町会館 ・年10回程度。毎月第3木曜日10時~11時半	0	0
16	わくわく体操×とくトーク講座	平成29年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み		1:高齢者		・岩井町原地区対象 ・会場 富士見台公園 ・年1回程度実施	1	16

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	プラザまつり	平成26年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子どもから高齢者まですべての年代の方々が対象としたお祭りを実施することで、地域の方々にケアプラザの周知をし、地域住民との顔の見える関係作りを構築することを目的とする。	5:地域	7	・地域住民対象 ・会場 岩崎地域ケアプラザ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止	0	0
18	福祉教育授業の参加	平成28年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	福祉教育を進めていく中で学齢児から地域福祉の事に関心をもってもらう将来の担い手育成へ繋げていくキッカケ作り	4:子ども・青少年	5	・区内在学の小中学生対象 ・会場 各小中学校 *地域ケアプラザの機能について・地域福祉について・高齢者疑似体験等 学年、世代によってテーマを変えた内容を実施した。	3	121
19	ほっとフレンズ	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	① 普段は、学校と家庭の往復になりがち障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ② 障がい児を抱えた家族のレスパイトを図る。 ③ 障がい児に理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。 ④ 関係諸学校及び団体との協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となるように継続的に努める。	2:障害児・者	4	・保土ヶ谷区内小学生～高校生の障がい児対象 ・年2回。 *参加者とボランティアがペアになり、おまつりとイベント等を楽しめる内容で実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止	0	0
20	ほどがや区民まつりの参加	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	区民が多数来場する「区民まつり」に区内全てのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。 そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。	5:地域	5	福祉保健センター1区分を使用し、ケアプラザの周知を行う。	0	0
21	お元気NEXT	令和3年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	・新型コロナウイルスの流行禍においても運動・活動することを続けられるためのキッカケ作り	1:高齢者	5	公園等屋外でのラジオ体操やウォーキング指導などを実施 口腔ケアの重要性について	1	10
22	サービスB・C勉強会	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	・訪問型サービスC及び通所型サービスBの理解を深め、ケアマネジャーに周知を行う。	6:事業者		サービスC及びサービスBを実施することのメリットや活用方法を学んだ。	1	13
23	権利擁護相談会	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・権利擁護に関する普及啓発、個別相談の対応のため。	1:高齢者	5	専門職(司法書士会、コスモス成年後見センター)による個別相談会 年6回実施 4月14日(2名)、6月16日(0名 ※包括の代理相談1件)、8月18日(1名)、1月20日(1名)、2月1日(1名)、3月16日(1名)	6	6
24	桜ヶ丘第1桜寿会団体継続プロジェクト	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	・コロナ禍により団体継続が困難な団体に対して参加者のモチベーションを向上させ、活動を継続できるようにする。	1:高齢者	5	団体継続の為に簡単な体操を伝え、講師や主となる人物が不在でも参加者自身が進んで学べるようにノウハウを伝えていく。 7月12日(14名) 10月11日(20名)、11月8日(17名)	3	51
25	大塚製薬オンラインサテライト研修	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防普及啓発	1:高齢者	5	大塚製薬の栄養士による栄養指導をZOOMにて視聴。 7月30日(6名)	1	6
26	もくようびのすまいる	令和3年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	居場所づくり、福祉・地域情報の発信、介護者支援	5:地域		ケアプラザ1階を11時から15時まで開放する。介護、医療、福祉、地域情報を掲示と案内でわかりやすく工夫する。あわせて、ミニ講座と、介護者の話を聞く場、医療等の相談会を実施。 11月18日(6名)	2	10
27	しゃべくりピーチ	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	岩崎エリアにある居宅介護事業所の介護支援専門員と介護予防や生活支援体制整備について情報共有を行った上で、介護支援専門員の悩みや課題を共有する。	6:事業者		前半講義で、後半座談会形式で実施。気軽に話せる雰囲気を作るために輪になって実施。	1	6
28	瀬戸ヶ谷町自治会イベント事業の参加	令和2年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	①地域住民や地区の役員が多数参加する祭りに参加させていただき、顔の見える関係づくりを行う。 ②地域ケアプラザが身近で気軽に相談・活動できる施設であることを周知する。 ③出張相談を兼ねて総合相談を受けると同時に地域ニーズ把握を目的とする。	5:地域		地域ケアプラザ周知ブースの設置	1	250
29	心と体とお金の健康講座	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	精神面、身体面、社会面の3つの側面からの健康維持について知ってもらう。	5:地域		作業療法士が身体面と精神面の講義や実技を実施。社会福祉士が社会面(お金)についての講義を実施。生活支援コーディネーターが社会参加の意義について講義。	1	5
30	区内合同認知症サポーター養成講座	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	区域の事業所を対象に講座を実施することで、認知症の人とその家族が暮らしやすいまちづくりを推進する。	6:事業者	5	保土ヶ谷郵便局本局を拠点にZOOMで区内16か所の郵便局各支店から参加。認知症の理解と、区や包括の取組、認知症の方への対応方法等を区役所認知症部会を中心に講座を実施。実施日10/13(45名)10/19(24名)	2	69